

世界水泳 2019

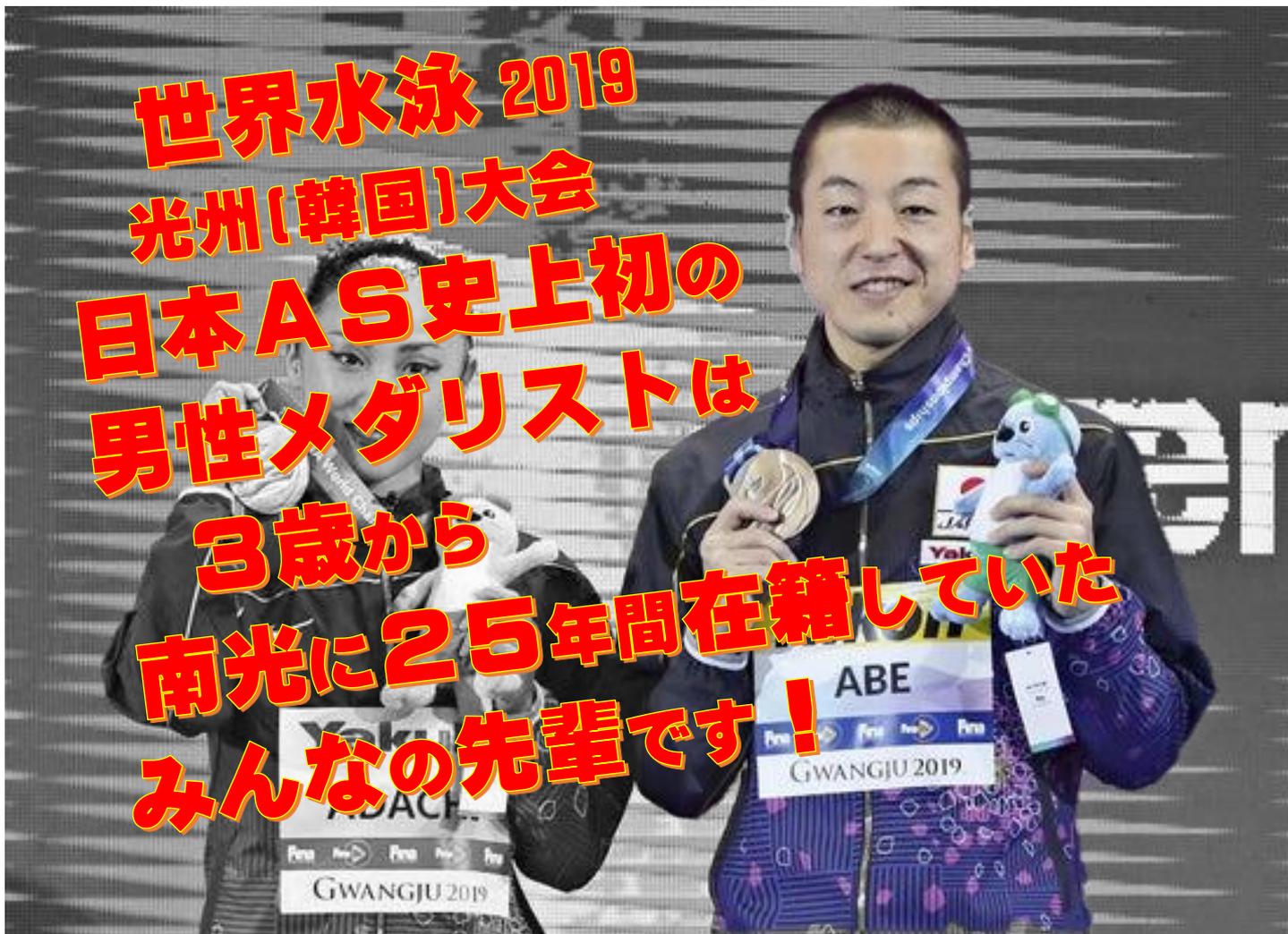
光州(韓国)大会

日本AS史上初の 男性メダリストは

3歳から

南光に25年間在籍していた

みんなの先輩です！



韓国の光州で開催されている世界水泳アーティスティックスイミング(AS)の混合デュエットのテクニカルルーティン決勝が7月15日に実施され、安部篤史足立夢実組が銅メダルを獲得し、男子ASの歴史に安部が記念碑を打ち立てた。



銅メダルを獲得した安部選手のコメント

『目標にしてきたメダルが取れた。とにかく嬉しい。
メダルって重いんだな。』

アーティスティックスイミング(AS)とは...

プール内で音楽に合わせて肉体を動かし、技の完成度、同調性、構成、芸術的な表現力などを得点で競う水泳競技の一種。『AS』と略される。2017年までシンクロナイズドスイミングとよばれていた。



安部篤史(36)選手よみうりランド所属

3歳から28歳まで当クラブに在籍し、選手コースでは全国大会で入賞するなど活躍。退会後も、練習環境が整わない時期は当クラブのプールを利用する事もあった。3年前の南光水中運動会では演技披露だけでなく、会員の子供達にシンクロを指導。今でも年数回、南光に来館し活動状況を報告に来る。応援お願いします！